

さ
か
し
た

タイムス

ときめき・かがやき・つながる さかした



第248号

椈の湖音楽フェス 2026

4月12日(日)、絶好の陽気のなか、『椈の湖音楽フェス2026』を開催しました。



6組の出演者による演奏・パフォーマンスが会場を盛り上げ、飲食をはじめとする21店のブースが活気づいていました。

同日開催のウォーキングやトランポリンをはじめとする10種類の体験エリアには、多くの子どもたちが楽しみました。



健康福祉会館「あおぞら」からのお知らせ

がん検診・特定/30代健診を受けましょう

日時：6月25日(木)・10月17日(土) 8時15分～ ※15分間隔でご予約できます

会場：坂下総合事務所 第2庁舎

2週間前までに、ウェブまたはお電話でご予約ください
坂下健康福祉会館あおぞら ☎ 0573-70-1016



各種ごあんない

※ウェブ予約にはアカウント作成が必須です↑

種類	対象者		費用
胃がん (エックス線)	40歳以上	令和7年度に市内視鏡検査を受けられた方は、今年度の胃がん検診を受けることはできません	700円
大腸がん	40歳以上	ご家族の方に検査キッドをご提出していただくことも可能です	
前立腺がん	50歳以上	男性	
肝炎ウイルス 検査	30歳以上	B型・C型肝炎ウイルス検査 令和8年度に41・46・51・56・61歳になる方で初めて受ける方は無料	
子宮頸がん	20歳以上	女性	
乳がん	30歳以上	女性 授乳中の方はご相談ください	
特定健診/ 30代健診	40歳以上/ 30歳以上	国民健康保険加入者には受診券が郵送されています 詳細はそちらをご覧ください	500円

胃がん検診(胃内視鏡検査)のご予約は9月から電話にて受付開始します

日時：12月11日(金)・12月12日(土) ※市の指定する時間でのご案内となります

場所：中津川市健康福祉会館(かやの木町2番5号) 対象：50歳以上 料金：4,000円

※年度内に胃内視鏡検査と胃部エックス線の両方を受けることはできません

椈の湖自然公園駐車場を整備していただきました



毎年多くの来場者の皆様にご利用いただいています「椈の湖自然公園駐車場」のぬかるみの対応として、昨年引続き、地元の（株）上野産業（糸魚川信二社長）から養生のため、自社の保有するダンプカーにより約 30 m³の砂利・砕石をご寄付下さいました。

また、ご寄付をいただきました砂利・砕石は、坂下建設（株）（安江貞夫社長）により整地及び転圧を施していただきました。株式会社上野産業 様、坂下建設株式会社 様、ありがとうございました。



ご寄付ありがとうございました

昭和 60 年・61 年生まれの 42 歳厄払い実行委員会の皆様から、総額 234,000 円相当のご寄付をいただきました。ありがとうございました。



寄付先	内容
やさかこども園	ワイヤレスシステム （ワイヤレスマイクロホン付）1組 壁掛け時計（付属品含む）1式
坂下花馬保存会	活動費



区長会通信

椈の湖音楽フェスティバルが盛大に開催されました

春の柔らかな日差しに恵まれた 4 月 12 日（日）、「椈の湖音楽フェス 2026」が開催されました。地域の方々を中心に、約 2,000 名もの来場者が訪れ、会場は終始にぎやかな活気に包まれました。

イベントの成功を裏で支えたのは、地域住民による献身的な協力です。自治会から選出されたまちづくり委員から 10 名、区長 10 名がボランティアとして参加し、駐車場の車両誘導等にあたりました。

ご来場いただいた皆様、そして朝早くから多大なご尽力をいただいた実行委員会やスタッフの皆様、本当にありがとうございました。今後も音楽を通じて、地域の絆を深める活動を支えてまいります。

令和 7 年度区長会決算報告

令和 8 年 3 月 26 日（木）に開催された区長会において、右のとおり令和 7 年度決算が承認されましたので、ご報告します。

収入の部

単位：円

科目	決算額	備考
前期繰越金	1,129,782	
区費	3,587,680	(月額)区費 70 円 消防関係協力費 140 円
自治活動支援交付金	1,577,750	
敬老会補助金	350,000	坂下地区社会福祉推進協議会
自主防災会助成金	150,000	社会福祉協議会より (奉仕活動助成金含む)
利息	3,402	
雑収入	72,448	広報配布手数料・寸志ほか
合計	6,871,062	

支出の部

科目	決算額	備考
事業費	1,236,643	敬老事業、成人式費用ほか
運営費	191,002	区長会連合会負担金ほか
総務費	76,822	曾我五郎十郎翁顕彰祭ほか
広報費	269,035	坂下タイムズ印刷代ほか
消防関係協力費	2,325,120	消防団坂下分団、女性防火クラブ、機能別消防団
広報配布手数料	1,557,993	区長広報配布手数料ほか
災害対策評議会助成金	0	
中津川田立線改良促進協議会助成	0	
予備費	0	
合計	5,656,615	
次年度繰越金	1,214,447	

学校等

PTAの役員紹介 (敬称略)

やさかこども園保護者会役員

会長	吉村 拓哉
副会長	千藤 大智
	松原 まりこ
会計	吉本 龍司
書記	吉村 梓

坂下小学校 PTA 役員

会長	片桐 大樹
副会長	吉村 智久
	原 ひとみ
会計	渡邊 庸子

坂下中学校 PTA 役員

会長	吉村 和也
副会長	吉村 伸広
家庭教育委員長	大宮 かおり
書記	小林 瑠里子
会計	安江 駿太郎

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

たぐちのりいち
田口憲一

＜坂下の養蚕・蚕種・製糸業 その11＞～製糸業5～

坂下で最後まで製糸をしていた「濃信社」について振り返ってみます。工場のあった場所は乙坂の五味商店の西側あたりです。当時をしのぶ物は見つかりませんが、ここで働いていた方々は町内にも近隣にも沢山みえます。そうした方達から昔話を集めてみました。

平成5年発行の『いろりばた』に、小池鈴一さんが「組合製糸濃信社」一代記を載せています。これを読むと、60年にわたる歴史が分ります。古谷製糸場の火事の後、この地域で生産される繭を安定して受け入れる製糸場として「濃信社」が生まれました。

以下に一代記の一部を紹介します。

「最初の工場設備は事務所兼繭受場1棟、繰糸工場1棟、(座繰式48人取り、鍋が48並んでいて一鍋一人、後ろに5つの枠、回転巻取式)、大枠工場1棟(繰糸工場において巻取られた小枠の糸を大枠に巻替える工場)、それに糸捻じ室1室付属(大枠に巻取られた糸を外し、捻じて結束し商品とする)、食堂1棟(当時の従業員女工さん共に労働時間は朝5時から夕方5時まで、従って食事は全部工場負担で行われる)、宿泊棟1棟、乾繭場1棟、倉庫と機関場は古谷の私物を使用、小さい煮繭場、残物処理場各1棟でした」

「人員構成は組合長兼常任理事古谷六兵衛氏、経験豊富で手腕を発揮された。従業員数(総員7～80人で当時町内では大規模な工場)」などと述べています。

町内在住の松井之雄さんは昭和30年から昭和57年まで濃信社で働いてみえました。はじめは煮た繭を配る仕事でしたが、徐々に経験を積んで工場内の機械類の運転や修理をしていたそうです。危険物取扱い、ボイラなどの資格を取りました。機械が壊れると翌日の作業が滞らない様に、徹夜で修理に当たったこともあったそうです。昭和49年日本生糸販売農業協同組合発行の役職員名簿によると松井さんは繰糸主任となっています。

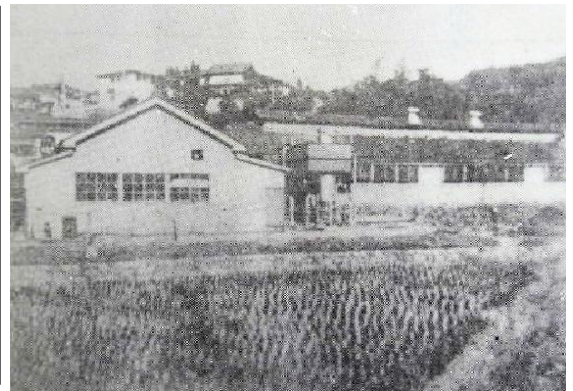
ほかにも、町内の方で会計課長早川光枝さん、工務課長小林孝さん、機械主任原清さん、煮繭主任原由夫さん、仕上主任吉村庄八さんなどの名があります。昭和57年の会社閉鎖後松井さんは、同じ組合製糸系で、岐阜県内で最後まで操業を続けた恵那繭糸(中津川の柳町、現在中津川保育園などが建っている所)へ移動し、平成6年退社まで働いたそうです。

松井さんが保存していた資料の中に、昭和32年発行の濃信社「従業員組合規約」があります。戦後民主化が進む中で時代を反映して自覚的な労働者の視点で組織されていたようです。第3条の目的には「この組合は組合員の強固な団結と民主的組織により、労働条件の維持改善並びに組合員の経済的地位の向上を図るとともに、企業の民主化と生産の増強に努め、蚕糸業の興隆に寄与することを目的とする」と謳っています。

工場跡地は閉鎖後に五味商店の倉庫や民家が建ち、今では全く痕跡は見つかりません。

閉鎖後の昭和60年発行の住宅地図に、関係者の証言を元にした工場の配置を復元してみました。

→
取り壊し前の濃信社。
(パイパスからみた風景)



毎月第3日曜日は「家庭の日」

中津川市青少年健全育成推進市民会議

いつもとおる このみちの あぶないところは どこだろう

坂下高校 賢・剛・優

デュアルシステム 開講式

4月23日(木)、「デュアルシステム」開講式を行いました。「デュアルシステム」とは、地域探究科 未来共生コースの2年生が、一年間を通して、毎週木曜日に終日、地元企業で仕事を体験する、本校の特徴的な授業の一つです。生徒たちは実際に働くことを通して、職業観を養い、未来の自分の生き方を見つめ直します。開講式では、中津川市商工観光部次長様や中津川商工会議所専務理事様から激励の言葉をいただいたり、実習させていただく企業の方から働く上でのアドバイスをいただいたりしました。坂高生が働いている姿を見かけましたら、ぜひ励ましの声を掛けください。



坂下中学校 超升先輩

命を守る訓練 ~火災・クマ対策~

4月24日(金)、今年度最初の「命を守る訓練」を実施しました。前半は、火災を想定した避難。火元を理科室に設定し、今自分がいる場所から安全に避難するにはどんなルートを通ればよいか考えながらグラウンドに集合しました。学校長からは、自身の体験を交えて実際の火災をイメージしながら訓練に取り組むことの大切さを生徒たちに伝えました。後半は、近年目撃情報や被害のニュースが絶えない「クマ」から身を守る方法について、猟友会の方から講話をしていただきました。突然出会ったとき、人もびっくりするがクマもびっくりしてパニックになることや、身に付けているカバンや衣服で頭を守る方法を教えていただきました。いざという時に身を守る方法を学ぶ貴重な機会となりました。



坂下小学校 ひとりだち

1年生を迎える会



4月28日(火)に、1年生を迎える会が行われました。1年生は、たくさんの拍手の中、5年生がつくる花のトンネルを6年生にエスコートされながらぐって入場しました。2年生からは、あさがおの種と招待状、3年生からはしおり、4年生からキーホルダー、5年生からはカードが贈られ、1年生は嬉しそうに受け取っていました。6年生から、会の後に一緒に遊ぶというプレゼントが贈られました。1年生は、自分の好きなことを描いた絵を見せながら、自己紹介をしました。全校の前で緊張しながらも、一生懸命自己紹介する1年生一人一人に、温かい拍手が贈られました。

やさかこども園 かがやく瞳

つくし料理

新年度が始まり一ヶ月が経ちました。入園したお友達は園生活にも慣れてきて、大きい組のお兄さん、お姉さんに手を繋いでもらい、晴れた日は散歩に出掛け花を摘んだり、つくしやよもぎを摘んだりして、みんなで春を満喫しています。未満児のお友達も、少しずつ園の生活に慣れてきて、園庭の遊具で遊んだり、近場に散歩に出かけたりしています。先日、幼児組が摘んだ“つくし”を調理して食べました。その前日にみんなで“はかま”とりをしました。はかま自体を知らない子供達でしたが経験と共に様々な事を学びながら友達と一緒に大きく育っています。今後も季節を感じられる行事を大切に取り組んでいきたいと思います。



《6月の主な行事》

日	曜日	行事名	時間	場所
1	月	やさか統一あいさつ運動		(やさか地区)
3	水	いきいき元気教室	13:30~	坂下公民館
14	日	クリーンキャンペーン		(各自治会)
17	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
25	木	がん検診・特定/30代健診	(予約制)	坂下総合事務所第2庁舎
26	金	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
		定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
29	月	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

ごみの収集日

燃えるごみ	毎週月・木曜日	燃えないごみ	6月 3日(水)
資源・硬質ごみ	6月 10日(水)	大型ごみ	6月 19日(金)
有害ごみ	6月の収集はありません		

人口と世帯数

(令和8年5月1日現在)

人口	3,806人(前月比5人減)	世帯数	1,596世帯(前月比2世帯減)
	男1,843人、女1,963人		

慶弔のお知らせ

4月11日から5月10日の
坂下総合事務所への届出分
敬称略

●ご逝去

よしむら	すすむ	(86歳)	下外
吉村	進		
いわもと	きみかず	(57歳)	上鐘一
岩本	公和		
はやかわ	やすお	(88歳)	松源地
早川	安夫		

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所

電話 0573-75-2111

FAX 0573-75-4704

Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp